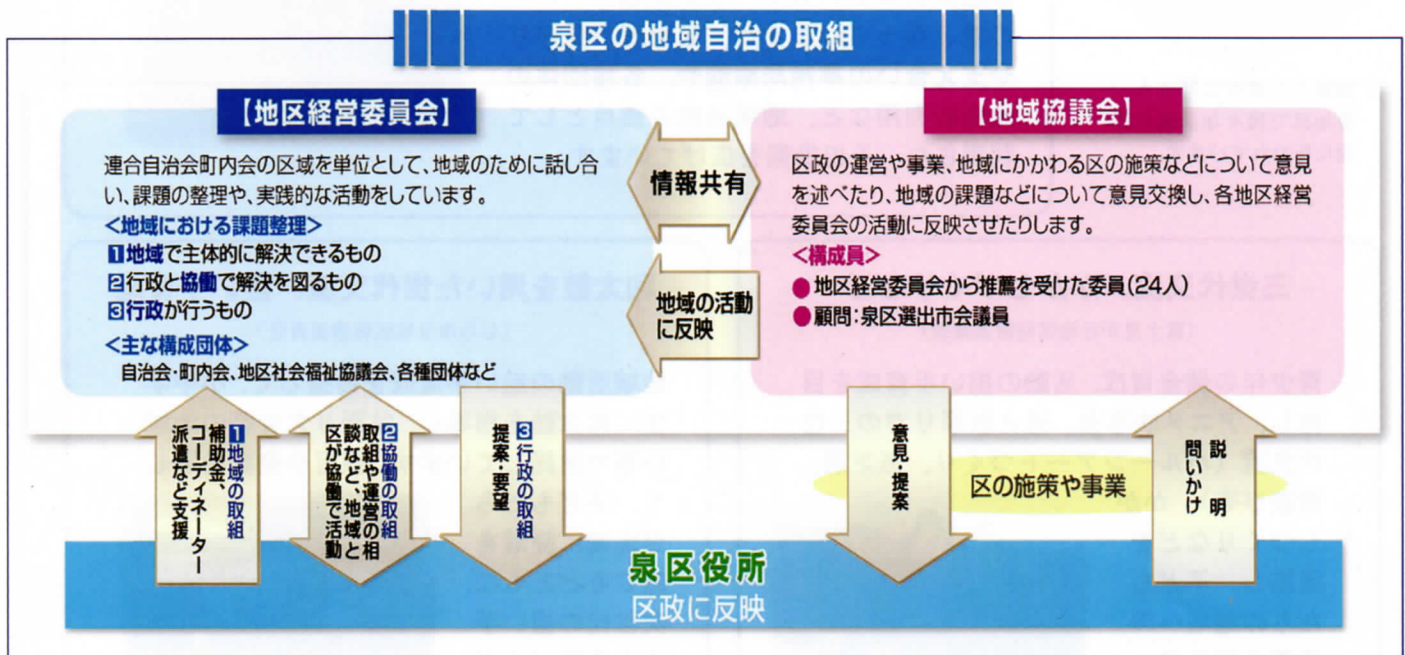


身近な自治で大きなつながり 泉区地域自治の取組

泉区では、だれもが安心して、いつまでも暮らしていきたいと思える地域をつくるため、区民の皆さんとのさまざまなつながりを大切にしながら、区づくりに取り組んでいます。そのために、地域では「地区経営委員会」、区全体では「地域協議会」の活動を通じて、区民の皆さんと区の協働によるまちづくりを進めています。



泉区地域協議会の活動

各地区経営委員会から2名ずつ、合計24人が委員となり、区民目線を大切にしながら、区の施策・事業のチェックや、区の課題についての話し合いを行っています。

1 区の施策や事業について意見・提案

協議会委員は、区長の求めに応じて区政運営、区の事務事業及び地域に関わる区の施策について意見・提案します。区はこの提案を、区政の運営や施策に活かしていきます。

2 地域課題について意見交換

地域の課題について、解決のための事例研究をしたり、情報交換を行ったりすることで、区内12地区の地区経営委員会などの活動に反映させ、より良い地域づくりを目指します。



地域協議会の様子

地区経営委員会の活動

地区経営委員会（※）は、泉区内にある12の連合自治会町内会の区域を単位として、自治会・町内会や地区社会福祉協議会、各種団体など多様な活動団体・個人などが集まり、地域のために話し合っって課題の整理や実践的な活動を実施しています。 ※名称は地区によって異なります。

活動事例

掲載した事例以外にも、各地区で様々な活動が活発に行われています。

だれでも気軽に利用できるサロンの運営（和泉中央地区経営委員会）

だれもが気軽に立ち寄れる常設サロンとして「いこいの家」を開設し、地域のボランティアによって運営されています。普段はお茶やおしゃべりを楽しむいこいの場となっていますが、高齢者の見守りや支え合いの事務局機能や、各種団体の会合の利用など、地域活動の拠点として利用され、その役割を広げています。



三世代交流、かかしづくりなど

（富士見が丘地区経営委員会）

青少年の健全育成、活動の担い手育成を目指し、アニメ映写会、連合秋祭りでの三世代交流（バルーンアートづくり、紙芝居、昔遊び等）、かかしづくりなどを実施し、子どもたちの地域への愛着を深めています。



和太鼓を用いた世代交流、担い手育成

（しらゆり地区経営委員会）

地域活動の担い手育成を目指して、小中学生に和太鼓を指導し、盆踊り大会等の地域行事で披露しています。練習や発表を通じて、子どもたちが地域に愛着を感じるとともに、次世代の担い手のすそ野が広がっています。



花の手入れを通じた子どもの見守り

（緑園地区活性化委員会）

子どもたちが植えた花の鉢を、地域の家庭の玄関先に置き、住民が手入れを兼ねて子どもの見守りを行います。このことで、住民と子どもたちの間に顔の見える関係がつけられ、地域全体での見守りが実現しています。



認知症への理解と予防

（中川地区経営委員会）

認知症を正しく理解するため、専門医や介護にあたるご家族を招き、認知症予防や家族介護の状況などを学んでいます。これらは、高齢者や障害のある方を地域で支える活動につなげていくため、地域全体で取り組んでいます。



横浜市泉区役所 区政推進課地域力推進担当
〒245-0024 横浜市泉区和泉中央北五丁目1番1号
TEL.045(800)2333 FAX.045(800)2505 平成31年3月発行

泉区マスコットキャラクター「いっずん」

